



14:00～14:10	<b>オープニング</b>
セミナー1 14:10～14:45	<p><b>簡単・効率的に荷電化粒子検出器 (CAD) を使いこなすことができる便利機能と活用法のご紹介</b></p> <p>サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社</p> <p>すべてのクロマトグラムのメソッド移管が可能な最新技術を搭載したThermo Scientific™ Vanquish™ Core HPLCシステムとThermo Scientific™ Chromeleon™ クロマトグラフィデータシステムを組み合わせることで、効率的にCADを使いこなすことができる便利な機能を解説します。また、Thermo Scientific™ ISQ™ EC シングル四重極質量分析計と組み合わせることで広がるCADの活用法もご紹介します。</p>
セミナー2 14:45～15:20	<p><b>低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価におけるコロナ荷電化粒子検出器の活用</b></p> <p>富士フイルムワコーケミカル株式会社 技術開発センター 北畠 睦己 先生</p> <p>低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価には、これまで手軽に使用できるUV検出器を用いたHPLC法が多用されてきた。しかし近年、UV吸収を持つてはいるが感度不足であったり、全くUV吸収を持たないターゲットが増加してきたことから、コロナ荷電化粒子検出器を導入した。本公演では、低分子医薬品原薬をはじめとした機能性材料の品質評価におけるコロナ荷電化粒子検出器の活用事例を紹介する。</p>
セミナー3 15:20～15:55	<p><b>荷電化粒子検出器 (CAD) を用いたオープンアクセス純度判定システムの構築</b></p> <p>旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター 研究推進部 後藤 徳仁 先生</p> <p>創薬研究における試験化合物の純度チェックを目的として、逆相HPLCと荷電化粒子検出器 (CAD) を組み合わせたオープンアクセス純度判定システムを構築した。これにより、研究者は随時、信頼性の高いデータを入手できるようになった。紫外吸収のない物質も網羅的に検出できるため、このデータは優れた純度判定の材料となる。本発表では、CADをオープンアクセスで使用する際の課題とその対応について紹介する。</p>
セミナー4 15:55～16:30	<p><b>食品分析における荷電化粒子検出器 (CAD) の適用事例～甘味料の一斉分析～</b></p> <p>地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所 衛生化学部 新矢 将尚 先生</p> <p>高甘味度甘味料の使用量や含有する食品の種類は近年増加傾向にある。それらは複数成分を混ぜ合わせて使用されることが多いが、化学的性質の違いから分析法は成分ごとに定められており、効率的な一斉分析の必要性が高まっている。荷電化粒子検出器 (CAD) は、物質の化学的構造に依存しない一貫した応答性を有し、多成分同時分析が可能であることから、CADを用いた食品中の甘味料分析法を開発し、その事例について紹介する。</p>
16:30～16:40	<b>クロージング</b>

※各セミナーの終了後にQ&Aの時間を設けます。

※当日の進行状況により、セミナー開始時間が前後する場合があります。あらかじめご了承ください。

© 2021 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.  
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.  
実際の販売価格は、弊社販売代理店までお問い合わせください。  
価格、製品の仕様、外観、記載内容は予告なしに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。  
標準販売条件はこちらをご覧ください。thermofisher.com/jp-tc HPLC173\_A21020B

## サーモフィッシャーサイエンティフィック株式会社

分析機器に関するお問い合わせはこちら

TEL: 0120-753-670 FAX: 0120-753-671

Analyze.jp@thermofisher.com

facebook.com/ThermoFisherJapan

@ThermoFisherJP

thermofisher.com

**ThermoFisher**  
SCIENTIFIC